



平成 29 年 8 月 1 日

各 位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也
(コード番号 7951 東証第 1 部)
問合せ先 広報部長 瀧澤 勉
(TEL 03-5488-6601)

2018 年 3 月期第 1 四半期連結業績の概要と 通期連結業績予想について

□ 第 1 四半期業績の概要

― 対前年同期増収・減益 ―

2018 年 3 月期第 1 四半期の売上高は、販売が堅調に推移したことから、前年同期に対して 9 億円の為替影響も含め 28 億円 (2.9%) 増加の 1,012 億円となりました。

損益については、為替影響が△18 億円あり、営業利益は 2 億円 (1.7%) 減少の 116 億円、経常利益は 2 億円 (2.1%) 減少の 112 億円となりました。また、前年同期に繰延税金資産 135 億円を計上していたことから、親会社株主に帰属する当期純利益は 132 億円 (58.5%) 減少の 93 億円となりました。

<事業セグメント別の売上高・営業損益の状況>

・ 楽器事業 売上高 656 億円 (前期比 1.4%増) 営業利益 83 億円 (前期比 11.9%減)

アコースティックピアノおよびデジタルピアノは、中国での 2 桁成長が全体を牽引し、増収となりました。ポータブルキーボードは、デジタルピアノへの買い上がりもあり、売上げが伸び悩みました。管楽器は中高級価格帯商品が堅調に推移し売上げを伸ばしたほか、ギターは中国での販売が好調でした。

セグメント全体の売上高は、前年同期に対し 6 億円の為替影響も含め、9 億円 (1.4%) 増加の 656 億円となりました。

営業利益は、為替影響が△14 億円あり、11 億円 (11.9%) 減少の 83 億円となりました。

・ 音響機器事業 売上高 265 億円 (前期比 3.7%増) 営業利益 19 億円 (前期比 4.2%減)

オーディオ機器が全世界で売上げを伸ばし好調だったほか、PA 機器も堅調に推移しました。ICT (情報通信) 機器は、音声コミュニケーション機器や国内のルーターが増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に対し 4 億円の為替影響も含め、10 億円 (3.7%) 増加の 265 億円となりました。

営業利益は、為替影響が△4 億円あり、1 億円 (4.2%) 減少の 19 億円となりました。

・ その他の事業 売上高 92 億円 (前期比 11.7%増) 営業利益 14 億円 (前期比 255.5%増)

電子部品およびゴルフ用品の販売が好調だったほか、FA 機器、自動車用内装部品も堅調に推移し、売上高は 10 億円 (11.7%) 増加の 92 億円となりました。

営業利益は、10 億円 (255.5%) 増加の 14 億円となりました。

□ 2018年3月期業績予想について

— 売上高、営業利益、経常利益を上方修正。過去最高営業利益を予想 —

2018年3月期連結業績予想は、5月1日公表時には、売上高 4,270億円（前期比 4.6%増）、営業利益485億円（前期比 9.5%増）、経常利益 485億円（前期比 8.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 390億円（前期比 16.5%減）としておりました。

今回の業績予想では、当第1四半期業績および今後の事業動向、為替動向等を考慮し、売上高 4,320億円（前期比 5.8%増）、営業利益500億円（前期比 12.9%増）、経常利益 500億円（前期比 11.3%増）に上方修正いたします。営業利益500億円は、2004年3月期の451億円を更新する過去最高益となります。

当社は、2016年4月に発表した中期経営計画「NEXT STAGE 12」において、最終年度となる2019年3月期の経営目標として売上高営業利益率12%を掲げておりますが、2018年3月期は11.6%となる見込みです。

なお、本予想における想定為替レートは、前回予想の対USドル110円、対ユーロ120円から、対ユーロを125円に見直しております。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2018年3月期第1四半期業績資料

ヤマハ株式会社

2017年8月1日

	前期第1四半期実績	第1四半期実績	前期実績	当期予想	前回当期予想 (17/5/1発表)
	17年3月期	18年3月期	17年3月期	18年3月期	18年3月期
売上高	984億円	1,012億円	4,082億円	4,320億円	4,270億円
国内売上高	344億円 (35.0%)	345億円 (34.0%)	1,384億円 (33.9%)	1,382億円 (32.0%)	1,378億円 (32.3%)
海外売上高	640億円 (65.0%)	668億円 (66.0%)	2,698億円 (66.1%)	2,938億円 (68.0%)	2,892億円 (67.7%)
営業利益	118億円 (12.0%)	116億円 (11.4%)	443億円 (10.9%)	500億円 (11.6%)	485億円 (11.4%)
経常利益	115億円 (11.6%)	112億円 (11.1%)	449億円 (11.0%)	500億円 (11.6%)	485億円 (11.4%)
当期利益 ^(*)	225億円 (22.9%)	93億円 (9.2%)	467億円 (11.4%)	390億円 (9.0%)	390億円 (9.1%)
為替レート(決済レート)	111円/US\$ 126円/EUR	111円/US\$ 121円/EUR	108円/US\$ 121円/EUR	110円/US\$ ^(**) 123円/EUR	110円/US\$ 120円/EUR
ROE ^(**)	30.1%	10.0%	14.0%	10.2%	10.2%
ROA ^(**)	19.7%	7.0%	9.4%	7.2%	7.2%
1株当たり利益	119.8円	49.8円	249.2円	208.1円	208.0円
設備投資額 (減価償却費)	36億円 (28億円)	35億円 (27億円)	175億円 (111億円)	259億円 (108億円)	284億円 (111億円)
研究開発費	60億円	62億円	244億円	263億円	268億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	26億円	19億円	391億円	510億円	530億円
投資活動	▲32億円	▲68億円	▲97億円	▲270億円	▲280億円
フリーキャッシュフロー	▲6億円	▲49億円	294億円	240億円	250億円
期末在庫高	933億円	1,001億円	931億円	921億円	897億円
(要員数)					
国内	6,226人	6,013人	5,937人	5,900人	5,900人
海外	14,413人	14,347人	14,238人	15,000人	15,000人
正社員計 ^(***) (連結範囲変動による増減)	20,639人 (▲125人)	20,360人 (-人)	20,175人 (-人)	20,900人 (-人)	20,900人 (-人)
正社員外要員(期中平均)	8,239人	7,802人	7,938人	7,400人	7,200人
(事業別売上高)					
楽器	647億円 (65.7%)	656億円 (64.7%)	2,577億円 (63.1%)	2,715億円 (62.9%)	2,690億円 (63.0%)
音響機器	255億円 (26.0%)	265億円 (26.2%)	1,155億円 (28.3%)	1,245億円 (28.8%)	1,230億円 (28.8%)
その他	82億円 (8.3%)	92億円 (9.1%)	351億円 (8.6%)	360億円 (8.3%)	350億円 (8.2%)
(事業別営業利益)					
楽器	94億円	83億円	321億円	355億円	350億円
音響機器	20億円	19億円	104億円	120億円	115億円
その他	4億円	14億円	17億円	25億円	20億円

(単独の状況)

売上高	583億円	599億円	2,158億円
営業利益	50億円 (8.6%)	71億円 (11.9%)	156億円 (7.2%)
経常利益	120億円 (20.6%)	148億円 (24.7%)	266億円 (12.3%)
当期利益	221億円 (37.8%)	128億円 (21.4%)	340億円 (15.7%)

*1 当期利益=親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

*2,3 ROE・ROAは年換算値

*4 要員数=期末社員在籍数

*5 2Q-4Q為替レート US\$=110円、EUR=125円 (2Qユーロは123円で予約済み)

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。